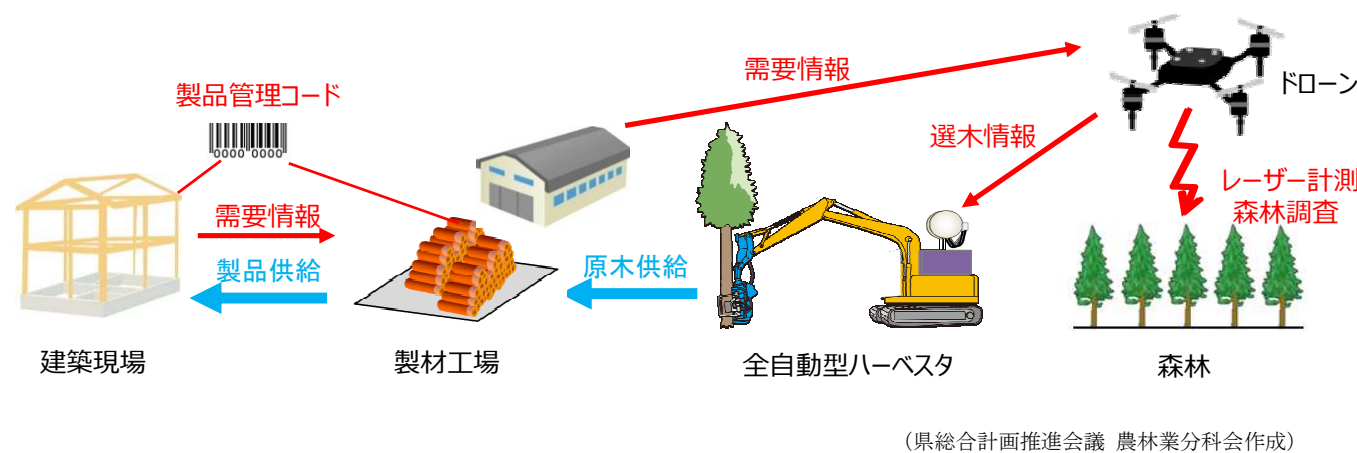


1 本県の森林・林業・木材産業が目指すべき将来像（2040年）

（1） 森林の公益的機能を持続的に発揮

- 間伐や再造林など、森林の整備・保全が適切に行われ、多様な林齢や樹種からなる健全な森林が広がっており、きれいな空気や豊かな水を生み出しています。
また、齢級構成の平準化の進展により、森林の若返りが図られ、森林の二酸化炭素吸収機能が高まっています。
その結果、これらの森林は、県土の保全や水源涵養、地球温暖化防止、生物多様性の保全などの公益的機能を高度に発揮し、豊かで快適な県民生活をもたらしています。
- 事前防災・減災対策として実施している治山施設の整備や流木対策が進み、山地災害に強い県として、安心・安全な県民生活を支えています。
- 県有林の森林公園や森林文化の森、身近な民有林などで展開されている、森林レクリエーション、森林セラピー[®]、森林環境教育などの活動に加え、健康・観光・教育等様々な分野と連携した森林サービス産業が発展しています。
これにより、森林空間の利活用が更に進み、森林の癒し効果を求めて、県内外から多くの方々が訪れています。

＜スマート林業のイメージ＞



（2） 林業の成長産業化を実現

- ICTを活用した低コストで効率的に搬出を行うスマート林業の定着や人工林資源が充実した区域への重点的な路網整備等を通じた施業集約化の進展、高度な知識と技術を有する林業就業者の育成等により、林業の生産性が向上しています。
- 針葉樹人工林は、齢級構成の平準化が進展しており、木材が計画的かつ安定的に生産されているとともに、「伐る、使う、植える、育てる」といった、人工林資源の循環利用による持続可能な林業経営が展開されています。
- 県産FSC認証材製品や品質及びデザイン性が高い木材製品が安定的に供給されているとともに、東京圏や海外などへの新たな販路の確立、公共建築物等への積極的な木材利用等による需要拡大が進んでいます。
これにより、新たな雇用の創出や林業就業者の所得向上など、地域経済全体が活性化し、豊かさが実感されています。

＜健全で多面的機能を発揮する森林と人工林資源の循環利用のイメージ＞



2 基本方針

（1） 森林の公益的機能の強化

安心、安全の確保など豊かな県民生活を支えている森林の持つ地球温暖化の防止や山地災害の防止、水源涵養、保健休養等の公益的機能を強化するため、荒廃した民有林等の整備や森林の自然災害・病虫獣害等からの保全、保健休養の場としての利用などの取り組みを推進

（2） 林業の成長産業化の推進

本格的な利用期を迎えた人工林資源を活用した林業の成長産業化を進めるため、林業の生産性の向上や県産材の需要拡大、林業の担い手の確保・育成、木材産業の振興などによる、「伐る、使う、植える、育てる」といった、森林資源を循環利用する取り組みを推進

3 施策の展開方向

(1) 森林の公益的機能の強化

○森林整備の推進

- 森林環境税等を活用した間伐等森林整備の推進
- 企業・団体等による森林整備への支援

○森林の保全

- 保安林の整備・管理の推進
- 病虫害対策の推進
- 鳥獣被害の防止

○治山施設等の整備

- 防災・減災のための治山施設の計画的な整備
- 治山・林道・森林公園施設の長寿命化の推進

○森林空間の利活用

- 森林の保健休養機能の活用
- 美しい森林景観づくりの推進
- 森林を活用したサービス産業の促進
- 森林環境教育の推進

(2) 林業の成長産業化の推進

○県産材供給体制の強化

- 再造林に必要な苗木生産力の強化
- 主伐後の再造林や間伐等による森林の整備
- 森林施業の生産性向上
- 林業・木材産業関連事業者によるサプライチェーンの構築
- 品質の確かな製品の加工・供給体制の整備・充実

○県産材需要拡大の推進

- 公共・民間建築物等の木造・木質化の促進
- 東京圏への販路開拓や海外輸出の促進
- 県産FSC認証材のブランド化
- 県産材利用の普及啓発

○林内路網整備の推進

- 計画的な林道の整備
- 施業の効率化に資する作業道の整備

○木質バイオマスの利活用の推進

- 木質バイオマス利用施設等の整備
- 未利用間伐材等の供給体制の整備

○林業の担い手の確保・育成

- 林業の魅力発信等による新規就業者の確保
- 意欲と能力のある林業経営体の育成
- 高度な知識と技術を有する担い手の育成

○特用林産物の産地化の推進

- 特用林産物の生産体制整備と生産者の確保・育成
- 栽培きのこの新品種や薬用植物の産地化による収入の確保

4 プランの実現に向けて

- 関係者の役割分担
- 財源の確保
- 進行管理